

視聴覚教育

マルチメディア元年

視聴覚部長 加藤 憲尚

No. 202

発行日 6. 5. 20

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

視聴覚キーワード
『マルチメディア』
音声、文字、画像情報
などを、学習者または教
師が必要に応じて情報を
選択し、関係づけ、活用
することのできる融合型
のメディア
視聴覚教育五月号より

近年「メディア」に係わることばが、数多く使われた。 「ニューメディア」「メディアミックス」「クロスメディア」「ハイパーメディア」「マルチメディア」等々。これらのことばの意味が説明でき、適切に使分けられる人はまだ少ない。

こうした用語の中で最も古くから使われていたのが、マルチメディアである。当時はいろいろなメディアを使うこと、例えば、映画・スライド・TPなど多くのメディアを使って学習効果を高める指導法の中で使われていた。現在使われているマルチメディアは、教育のみに留まらず、広い意味で使われている。即ち、文字・音声・映像などの情報をコンピュータで融合、加工させ、双方向で送受信させることをさしている。

マルチメディアは、今年に入って、新聞でよく見かけるようになった。アメリカ大統領の「情報スーパーハイウエー構想」をきっかけに二十一世紀の成長産業として脚光をあび出した。日本では、郵政省やNTTが実用化に向けての実験を打ち出した。

岡崎市は、郵政省の「マルチメディアモデル都市」の指定を受けた。CATV西三河ニューテレビ放送のネットワークを利用し、データを送受信するパイロットプロジェクトに取り組むことになる。

当初は、教育分野から手がけ、順次医療、福祉、行政分野へ広がると聞く。何しろ日本に例のないことを教育分野で開拓するのである。英知をしぼって研究開発にあたらなければならない。かつて夢であったことが実現する日も近い。平成六年はまさに融合利用としての「マルチメディア元年」となりそうだ。



|| 視聴覚教育あれこれ ||

平成六年度 視聴覚部活動方針決定!

研究主題

個性を大切に、人間性豊かな子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 授業で生かせる自作視聴覚教材の制作とその活用
- ② 学習効果を高めるために視聴覚教材・機器や放送を活用した授業の実践
- ③ 視聴覚教室・パソコン教室の総合的な利用
- ④ 校内放送の充実と双方向システム活用法の研究
- ⑤ パソコン機能の理解とその活用法の研究
- ⑥ マルチメディアの研究

今年度も昨年と同じ研究を掲げ、さらに深化させることを目指しています。「新しい学力観」に対応した視聴覚教育のあり方を、実践の中で研究していきます。

また、今年度から、「マルチメディアの研究」が新たに加わりました。マルチメディアを取り入れた授業に、積極的に取り組みたいと思います。



平成六年度 視聴覚部組織

組織

部長・ライブラリー運営委員長

加藤 憲尚 (矢北中長)

部長

牧野伊佐夫 (竜美丘小長)

中山 昌司 (六名小長)

ライブラリー運営副委員長

二村 邦彦 (北野小長)

指導員

山田 賛平

世話係

萩原 寛 (大樹寺小)

内藤 法雄 (愛宕小)

杉浦 修 (矢作中)

八田 敏公 (美川中)

ライブラリー職員

中根 秀樹

山内 薫

木浦 祥子

運営委員

名倉 嘉章 (竜海中) 寛 美鈴 (藤川小)

鈴木 淳二 (細川中) 吉田 章二 (南 中)

青山 静夫 (東海中) 清水 政秀 (山中小)

森下 恒夫 (広幡小) 鷺見 辰美 (小豆坂小)



■視聴覚部 各委員会

広報委員会 研修委員会

自作委員会 教科委員会

以上四つの委員会で活動していきます。

※ 本年度より、視聴覚が持つ効果を研究し、日々の授業の中で、より一層生かしていけるように教科委員会が発足しました。視聴覚を活用した授業実践の足場を広げていきます。

Ⅱレッツ トライⅡ

・全国放送教育特別研究協議会

7月29日・30日 東京都

・映像教材利用研究協議会

7月下旬 東京都

・全国視聴覚教育研究会

10月13日・14日 大津市

・放送教育研究会全国大会

10月27日・28日 松山市

・学校視聴覚教育全国大会

11月18日・19日 大阪市

各種大会・研究会のお知らせ

☆人事異動

今回の異動で、岸明信主事は資産税課へ、河合麻里さんは市立図書館へそれぞれ榮進されました。代わって社会教育課より中根秀樹副所長代理、市立図書館より木浦祥子さんが後任として業務に当たられます。よろしく願います。

☆教材等の配達・回収サービス

16ミリ映画、寄贈ビデオ、レーザーディスク教材およびレーザーディスクプレーヤーを毎週火曜日に小中学校や市民センターへ配達、翌週月曜日に回収します。「視聴覚教材・教材目録」「寄贈ビデオ・LD教材一覧」でフィルムやビデオ、LDを選び、必ず電話で予約してください。

☆ビデオ教材のダビング

ライブラリー等で制作した自作ビデオのダビングを行っています。ビデオテープの背に番組名と学校名を記入して送ってください。原則として一番組一本のテープです。

☆ライブラリー40周年記念事業

昭和29年5月、視聴覚ライブラリーが発足してから40年目を迎えます。この記念事業として、40年の歩みを記録にとどめるための編集がいよいよ本格的に始まりました。関係諸氏にご労苦をおかけしますが、よろしく願います。

